

東北大学 個別テーマ：EBPMモデルの設計・構築・社会実装 地域のインフラ（道路施設、公園）を対象とした地域特性に応じたメンテナンス手法の構築

EBPMによる地域インフラ群マネジメント

従来どおり「修繕する」、「修繕せずに延命化させる」、延命化できない場合は「集約撤去」するなど地域の特性に応じたメリハリのある維持管理の実現

地域の発展



快適なまちづくり

研究内容

- 維持管理データと地域特性データの分析により、地域インフラの役割を最大化するような EBPM の検討
- GIS分析・可視化手法、インフラ情報マネジメントシステムとの連携、道路舗装の新材料による延命化技術、橋梁の延命化のための補修技術

地域の特性

文化 歴史 産業 観光
気候 地理 経済 生活

OPENデータ

地理・気候・交通・人口・人流・
物流・環境・生活・医療・教育・防災

地域のインフラ

道路 橋梁 トンネル
公園 下水道

維持管理データ

点検・修繕・材料

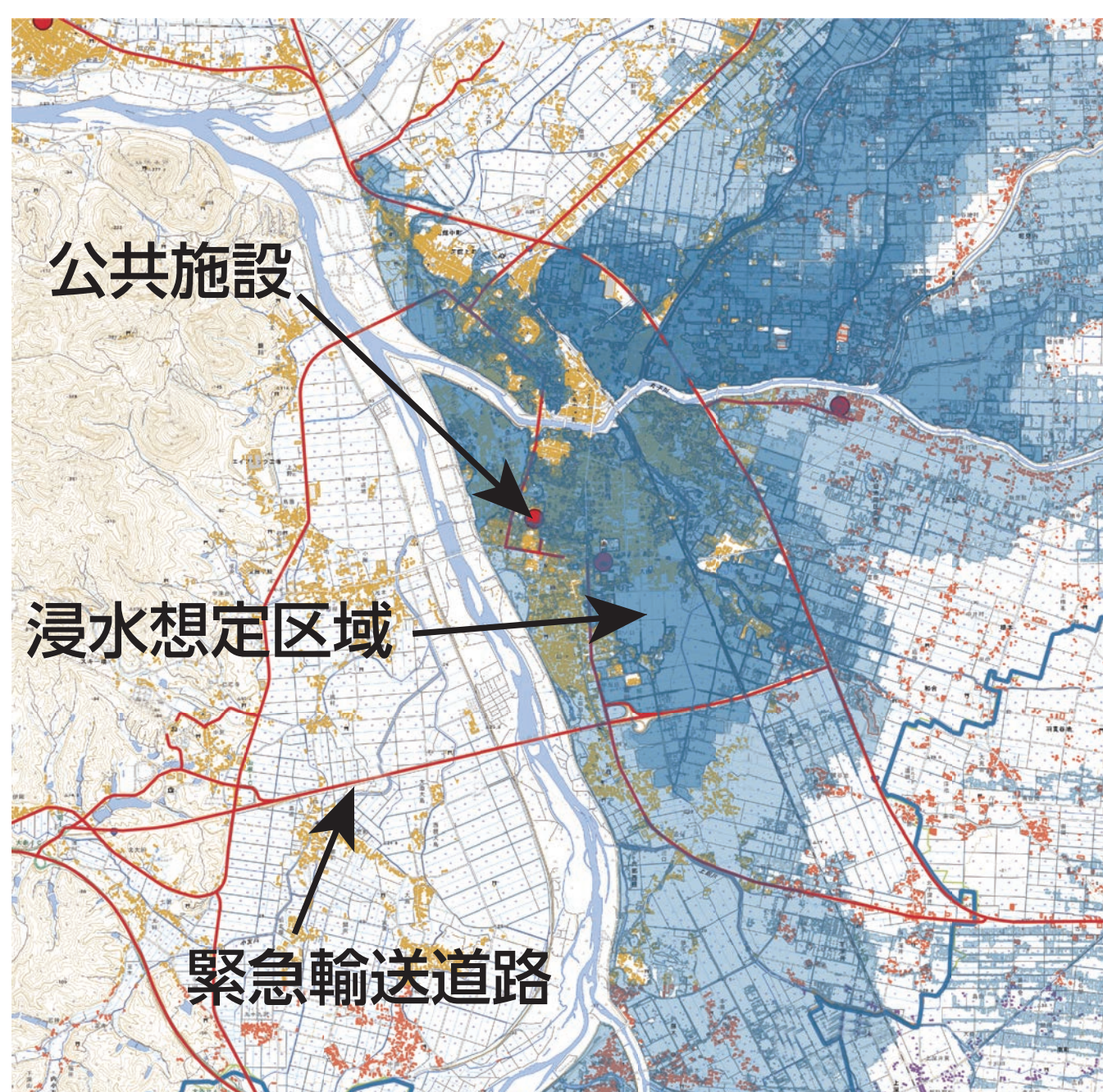
地域のサービス

公共交通 公共施設 行政窓口
文化施設 コミュニティ

運用データ

ルート・配置・コスト

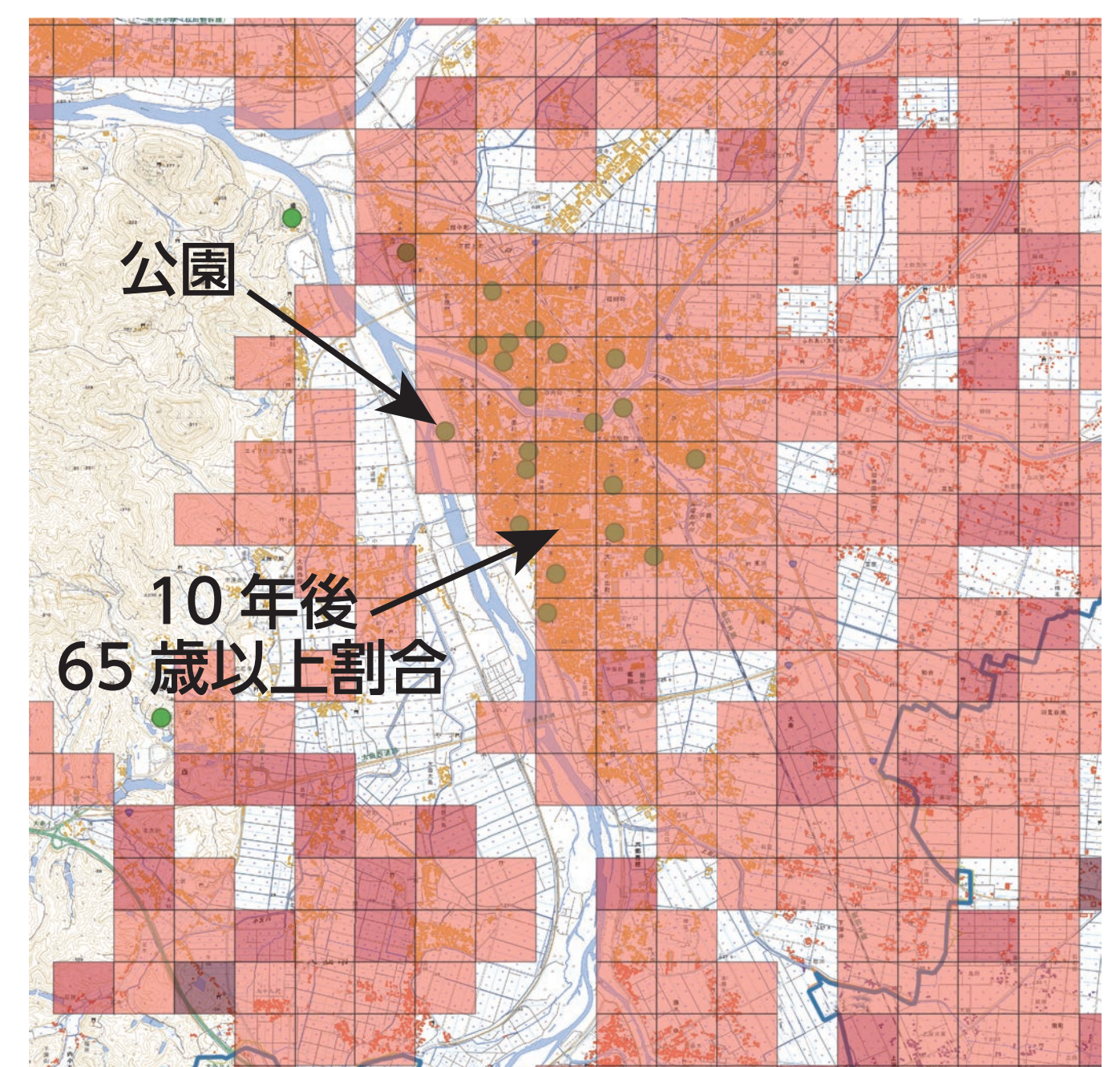
— GIS による分析・可視化 —



公共施設 × 緊急輸送道路 × 浸水想定区域



バスルート × 将来人口推計



公園 × 将来人口推計

評価

- 緊急輸送道路、公共施設の被災リスク

- 道路ネットワークの重要度
- バスルート・サービスの有効性

- 公園の配置、施設の妥当性

維持管理方針

- 緊急輸送道路の強靱化
- 公共施設の配置最適化

- 重要度に応じた維持管理（修繕・延命化・集約撤去）
- バスルート・サービスの最適化

- 公園の配置、維持管理計画の最適化
- 少子高齢化に対応した施設整備

体制

モデル自治体
6自治体

研究開発機関
東北大学IMC

協力機関

ニチレキ(株)

福井コンピュータ(株)

(株)IML